

30日 土曜

箴言



31:1 マサの王レムエルが母から受けた戒めのことば。

31:2 私の子よ、何を語ろうか。私の胎の子よ、何を語ろうか。私の誓願の子よ、何を語ろうか。

31:3 あなたの力を、女たちに費やしてはいけ
ない。王を滅ぼす者たちに、歩みを委ねては
いけない。

31:4 レムエルよ、これは王がすることではな
い。ぶどう酒を飲むのは王がすることではな
い。強い酒を飲むのは君主がすることではな
い。

31:5 酒を飲んで、定められたことを忘れ、苦
しむ者みなへのさばきを曲げるといけないか
ら。

31:6 強い酒は滅びようとしている者に、ぶど
う酒は心の痛んでいる者に与えなさい。

31:7 その人は飲んで自分の貧しさを忘れ、も
う自分の労苦を思い出すことはない。

31:8 口のきけない人のために、口を開きなさい。
すべての不幸な人の訴えのために。

31:9 口を開いて、正しくさばき、苦しむ人や
貧しい人のためにさばきを行いなさい。

3節には権力ある者へのいましめです。王には何をすることも許されますが、だからこそ正しいことを選び取る必要があります。私たちも許されているから、批判されないからと好みに振舞うのではなく、何が大切かで判断しましょう。

「王がすることではない。」とあります。人はその責任に応じて、またプライドを感じて行動すべきです。これは私のすることではないと、自分の行動を高いレベルで判断しましょう。

「酒」などの嗜好品、または快楽などは、よく自

己管理が必要です。

8節にあるように、自分のためではなく悩める人のために生きることは、使命を持って生まれた人の本当の生き方です。自分自身の使命を神様から明確にさせていただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

